

日本教育心理学会 第66回総会
学会企画シンポジウム 7

学校不適応・過剰適応の教育心理学
——不登校の未然防止を目指して——

資料目次 (PDFのページ)

◆ 話題提供

石津憲一郎	2~19
清水 恵	20~68
関 和浩	69~93
鈴木美樹江	94~104

過剰適応に関連した

子供の苦戦とその支援

富山大学大学院教職実践開発研究科

石津 憲一郎

「適応」とは??

2

- 「定期テスト」「部活動などへの参加」「文化活動」「発表会」「受験」「生活」「人間関係」で、うまくやること？
- これは（場合によっては）、環境から求められることに合わせていくこと（外的適応）になる。
- ただし適応は、環境と個人の相互作用できまるため、当然ながら「個人に合わない環境」だってあるはず。だから「個別最適な学び」が出てきたような...
- ただ、自分の気持ちとその背後にある欲求を排除しながら、外部からの期待や要求に完全に近い形で（≡過剰）従おうとしてしまうこと ≡過剰適応。

子供の苦戦の様態としての不登校

3

不登校の子どもたち（国内 R4）

- ・ 小学生で約 10万人（1.70%）
- ・ 中学生で約 19万人（5.98%）
- ・ 高校生で約 65,000人（2.00%）

- ・ 日本で数多くの不登校の子どもや保護者が苦しんでいる。

過剰適応に関する問題意識

4

- 過剰適応はwell-beingを低下させる傾向。
- 感情から回避し，自律性を発揮しにくいいため？
- 一方で，過剰適応はその人にとっての適応方略。
（その方略を使って，何とか生きている。）
- その適応方略は個人にとっては「機能している」可能性。

👉 「過剰適応ダメ！」になると，むしろ適応方略を失って困ってしまう？

👉 「過剰適応ダメ！」なので，頑張って適応（過剰適応）というトートロジーへ？

不登校に関する問題意識

5

『不登校に関する実態調査—平成18年度不登校生徒に関する追跡調査報告書—』（文科）

【不登校の継続理由は？】

- ・ 無気力で何となく（44%）
- ・ 身体的不調感／不安感（43%）
- ・ 学校での人間関係（41%）
- ・ 生活リズム（33%）
- ・ 勉強についていけない（27%）

問題意識のまとめ

6

感情回避（体験の回避）傾向は、本当に過剰適応を促進しうるのだろうか？

私はこうしたいという感覚である『自律的な価値の感覚の低さ』は、本当に無気力を導くのだろうか？

感情回避や自律的な価値に対するユニバーサルな支援（心理教育）は、過剰適応のもつ非適応性の改善にもつながるの？

ACTのスタンス

7

- 人生**楽あり**や**苦もある**さ
- **苦から逃れようともがく**（苦を無視しようとする）
ことで**悪循環**に。
- ACTのねらいは、**症状や問題の緩和や解消ではない**。
- ACTのねらいは、**避けられない痛みは受け容れながら**
（自分に優しくしながら）、有意義で豊かな人生を切り拓くこと。

ヘキサフレックス（柔軟性）

8

「今、この瞬間」への
柔軟な注意
(今、ここに、いる)

アクセプタンス
(オープンになる)

価値
(何が大切かを知る)

心理的柔軟性

脱フュージョン
(思考を観察する)

コミットされた行為
(必要なことをする)

文脈としての自己
(純粹なる気づき)

過剰適応の視点からみると

私は何がしたいんだっけ？

ポイント
ない
をいったん受け入れること。

とにかく
うまくやらないと

こうしないと
いけない

(認知) ・ 活力、目的、そして 意味を地 えるよ
生の方向性
す) : コ
ンをちよっとずつ拡大していく。苦戦したらAに戻る！

何を求められて
いるのだろう

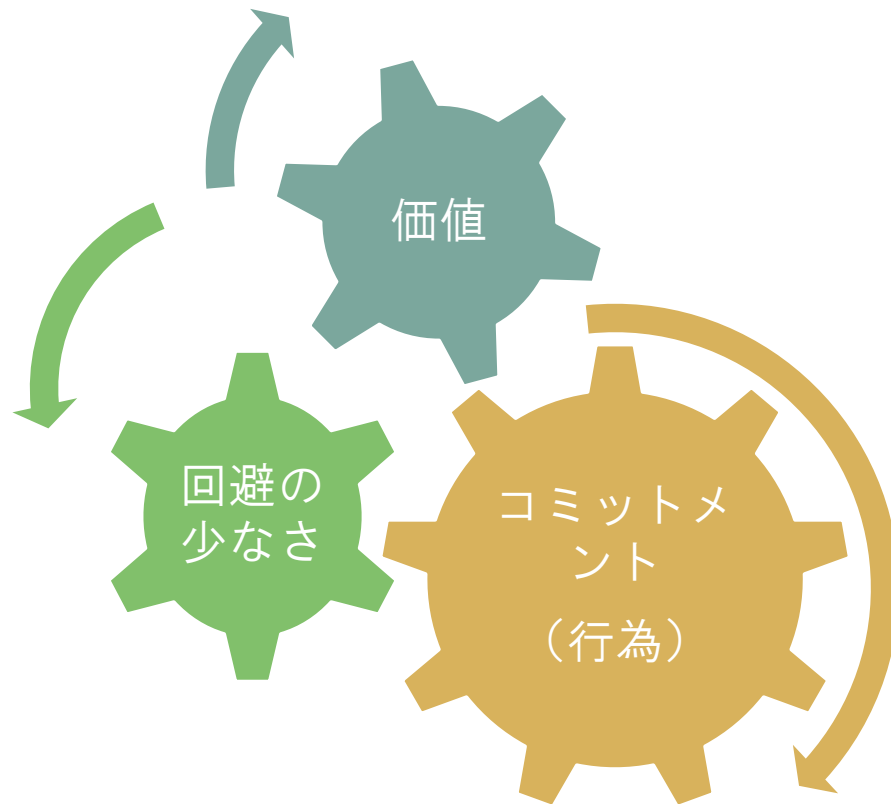
何が“正解”
だろう？

感じる行動
拡大していきだ

どう
振舞うべき？

予防的アプローチとしての視点

10



循環を狙いたい。

- ①価値は自律的／主体的
- ②うまくいかないと「痛い」「傷つく」けど、痛みは避けて通れないこともある。
- ③自分のことを励ましながらかみットメントを続ける！

ACT

- ①Accept
- ②Choose
- ③Take action !

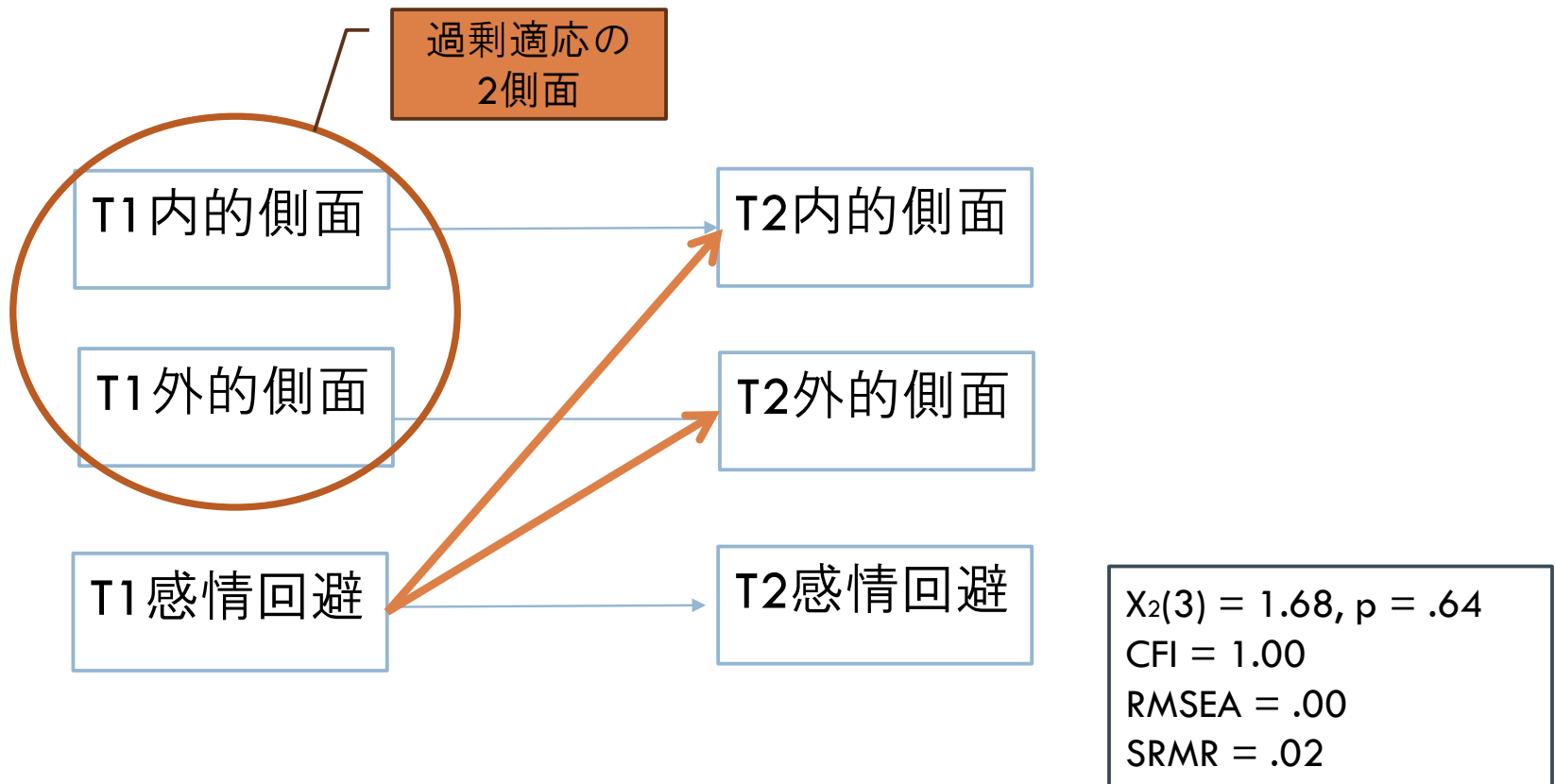
本当にそうなの？（再び）

- でも、本当に感情回避（感情の抑圧やなかったことにする方略）は過剰適応につながるの？
- 「価値の明確さ」が少ないと、それは本当に無気力を導くのか？
- 感情回避に対するユニバーサルな支援（心理教育）は、過剰適応にもつながるの？

感情回避と過剰適応の関連

12

- 中学生258名（中2週間での縦断データ）

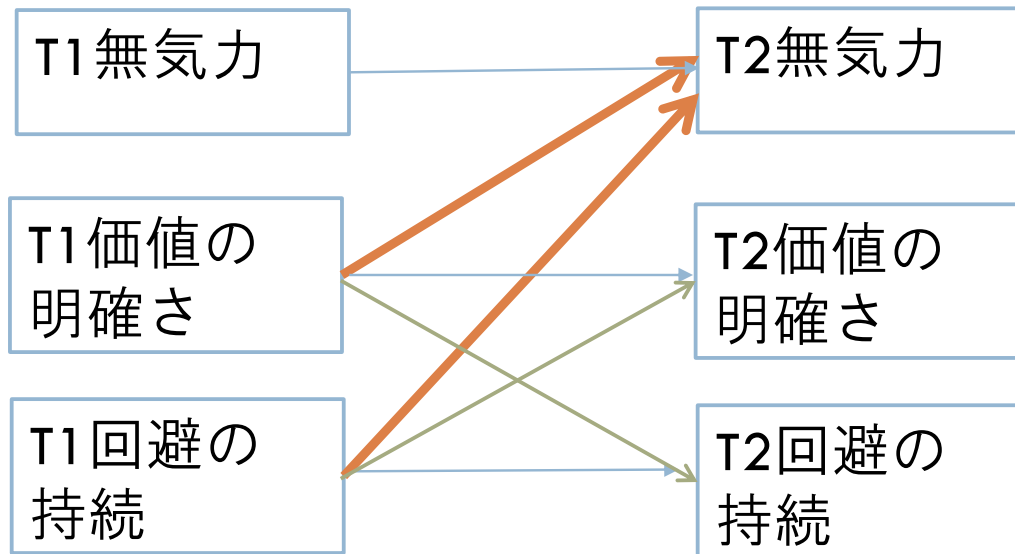


価値と無気力の関連

(石津他, 2020@心理臨床学会)

13

- 価値とコミットメントは無気力を予測？
- 中学生259名, 6週間おきの縦断データ



$\chi^2(2) = 6.19, p = .05$
CFI = .99
RMSEA = .07
SRMR = .01

介入実践結果（2016@学校心理学会）

14

◎プログラム内容

- #1 「自分が大切にしたい価値」
- #2 「アクセプタンス」
- #3 「呼吸とマインドフルネス」
- #4 「まとめとコミットメント」

◎対象

介入群81名，統制群266名の中学3年生

◎効果測定尺度（pre, post, followの3ショット）

- ・ AFQ-Y (Ishizu et al, 2014)
- ・ 自尊感情尺度 (内田・上埜, 2010)
- ・ 学業ストレス対処 (神藤, 1998)
- ・ ストレス反応 (岡安・高山, 1999)

感情回避に焦点を絞ると。

15

1) AFQ-Y (感情の回避) について

⇒時期と群の交互作用が有意。単純主効果の結果、統制群ではAFQが上昇し介入群では時期の変化はない。

⇒介入群で下がったわけではないので、短期間の心理教育で感情回避が下がると断言はできない。

ネガティブ感情受け入れていくことの困難さに対する予防的アプローチは、短期的な視点だけでは不十分かもしれない。

竹田・桂川（2024）

16

- 過剰適応傾向の高い中学生は、価値の明確化得点が低く、抑うつ傾向が高い
- 心理教育的介入によって、介入群において基本的心理欲求の充足(well-being)得点に変化。
- 外的適応行動が自身の価値に沿った行動であると意味づけられ、well-being の向上につながる可能性。

竹田好香・桂川泰典（2024）.『中学生における価値の明確化およびコミットメントの心理教育的介入の効果—過剰適応への支援の検討—』 日本学校メンタルヘルス学会第27回大会発表抄録集, 88-89.

まとめにかえて1

17

- 過剰適応は（繰り返したが）問題「行動」ではない。むしろ適応方略。
- 感情は「こうせんなん^{（富山弁）}」という行動のためのトリガーでもあり，それに基づき欲求が生起すると考えられる。基本的感情からの回避は，個人の欲求からの回避でもある。
- その結果として，心理的well-beingの低下や不登校等の苦戦（SOSのサイン？）が生じる。
- ただし，内的欲求を認めることは，外的要求とバッティングするので葛藤が生じる。

→ 葛藤に対処するために，内的欲求を過剰に制御する過剰適応？ 「個別最適化」や「主体的学び」という言葉が上滑りしているかも？

まとめにかえて2

- 一方で，他者が葛藤を先回りの的に処理して（子供のため）無痛／無風状態を設定すれば，今度は「悩めない子」が増える（生島，1999）。
- 苦戦へのアプローチは「楽になる」だけではなく，時に生じる葛藤による苦しみをどう乗り越えていくかの支援でもあるのかもしれない？
- 「避けられない痛みは受け入れながら，自分の人生を生きること」への支援は難しい。不登校という現象だけを何とかしようとするれば，「生きる」ということへの支援につながる視野が狭くなるかも。
- その意味でも「社会適応」と「個人的欲求（価値）の充足」という2種類の適応の天秤の揺れ（澤田，2014）という視座からの支援を考える必要があるのでは？

日本教育心理学会 第66回総会 学会企画シンポジウム7
学校不応適・過剰反応の教育心理学 ー不登校の未然防止を目指してー

令和6年9月16日

多様な不登校傾向の生徒への 個に応じた対応の組織化



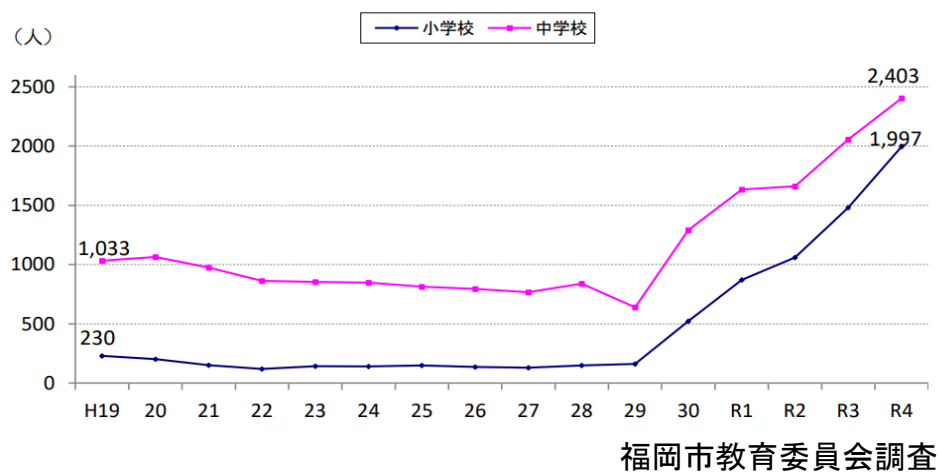
福岡市立舞鶴中学校
教育相談コーディネーター
指導教諭 清水 恵

1. 所属自治体、 勤務校の実態

福岡市

小学校数 147校 中学校数 70校

福岡市不登校児童生徒数

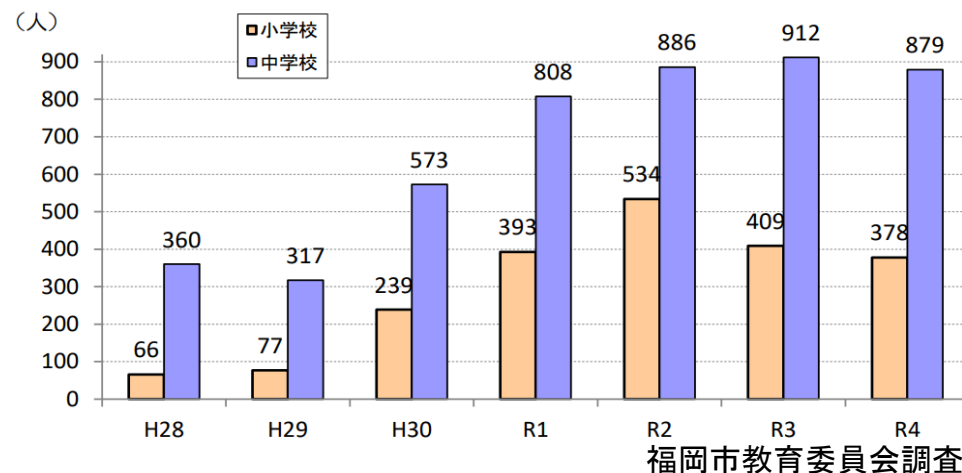


令和4年度 不登校児童生徒の割合

小学校 約2.4%

中学校 約6.3%

福岡市不登校児童生徒復帰状況



令和4年度 不登校児童生徒の登校復帰率

小学校 約18.9%

中学校 約36.5%

福岡市の教育相談コーディネーター

全中学校に専任で配置。中学校ブロックの小学校と中学校において不登校状態にある児童生徒の支援を行うとともに、新たな不登校児童生徒を生まないための予防的取組や体制作りを協働で行う必要があり、それらに参画し推進する。

教育相談コーディネーターの役割

居場所づくり

安心できる居場所づくり・個別支援

体制づくり

支援体制の調整と推進

予防的取組

未然防止の取組の推進

連携

各役割の理解と連携

上の4つの役割が中学校ブロック内の小・中学校で行われるよう、各学校の実態に応じて、職員や児童生徒、家庭に働きかけを行う。

1. 勤務校の実態

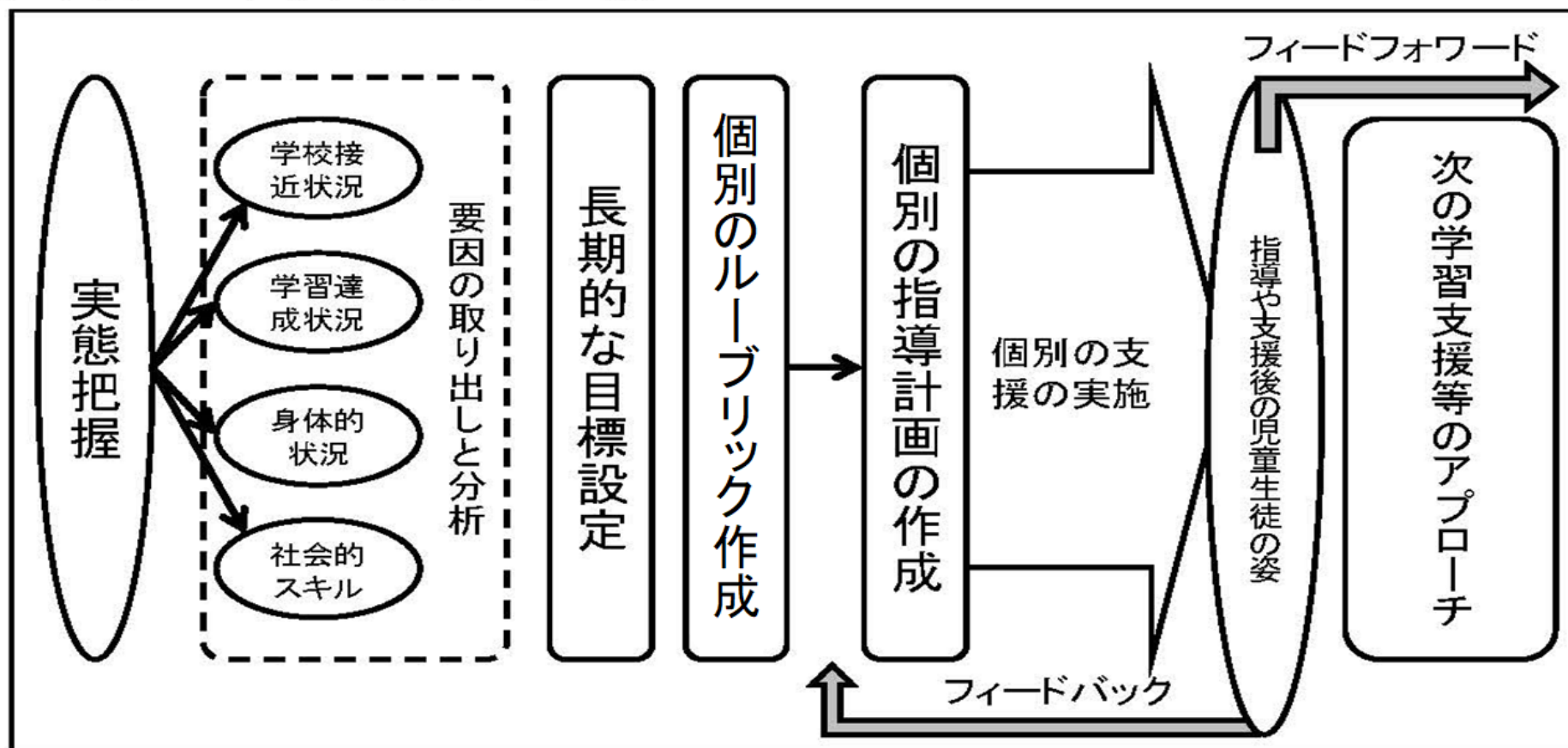
勤務校の不登校傾向生徒支援の課題

- 他学年の様子がわかりにくい
- 学年職員の経験則や知見、感覚での対応になり、根拠となるものがない
- 学年ごとに支援の基準が異なることがある
- 責任の所在がわかりにくい、一部の教員への負担が大きい、生徒や保護者との関係がこじれる等がある

2. 個に応じた 支援の循環モデル

2. 個に応じた支援の循環モデル

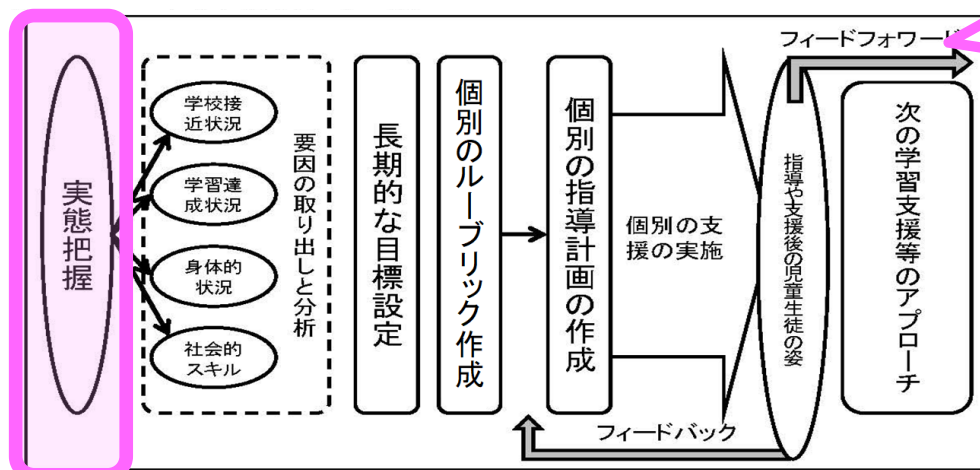
【生徒支援のフロー】



出典：福岡市教育委員会(2024)文部科学省研究開発学校 研究開発実施報告書

2. 個に応じた支援の循環モデル

【生徒支援のフロー】



《改善すべき課題》
 学年職員の経験則や知見、感覚での
 対応になり、根拠となるものがない

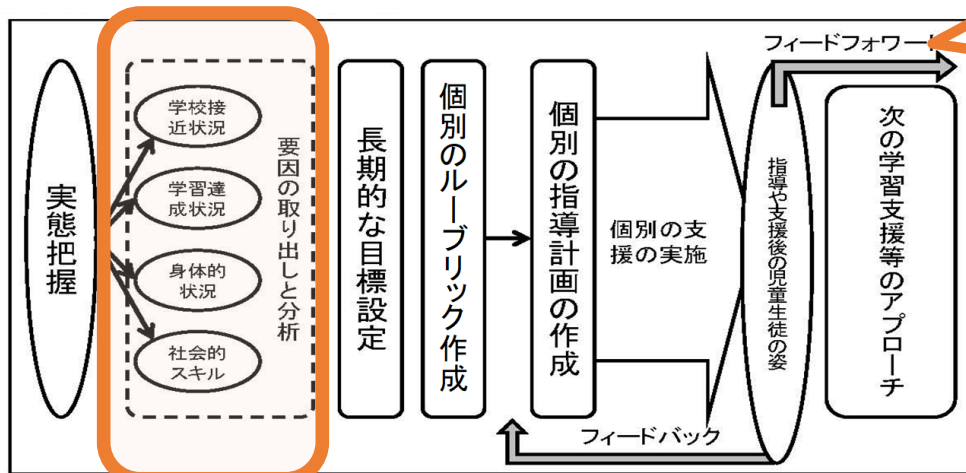
○実施者
 生徒の関係教職員・学年

○実施内容
 生徒に関する情報を整理し、実態を把握する

○実施方法
 生徒の様相観察 生徒や保護者との面談

2. 個に応じた支援の循環モデル

【生徒支援のフロー】



《改善すべき課題》
 学年職員の経験則や知見、感覚での対応になり、根拠となるものがない

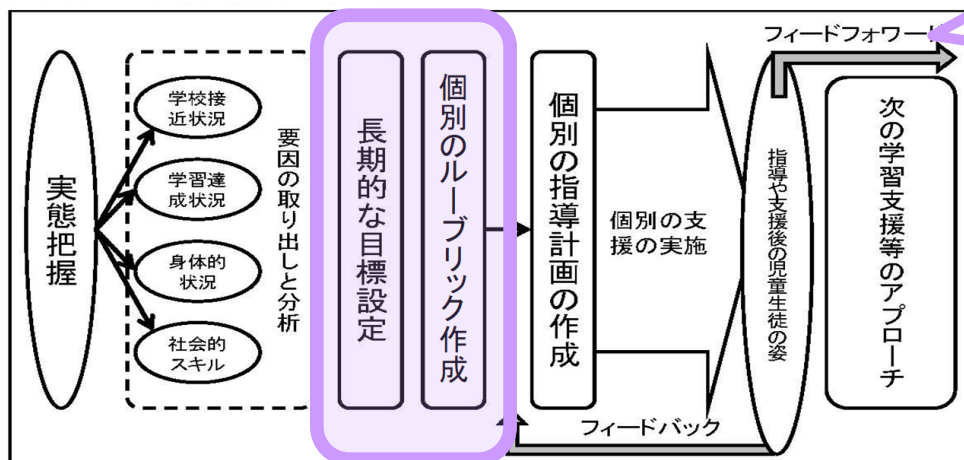
○実施者
 生徒支援委員会

○実施内容
 生徒の実態や状況から要因の分析 支援の手立ての検討

○実施方法
 生徒支援委員会での協議 学年会での協議

2. 個に応じた支援の循環モデル

【生徒支援のフロー】



《改善すべき課題》
 学年職員の経験則や知見、感覚での対応になり、根拠となるものがない

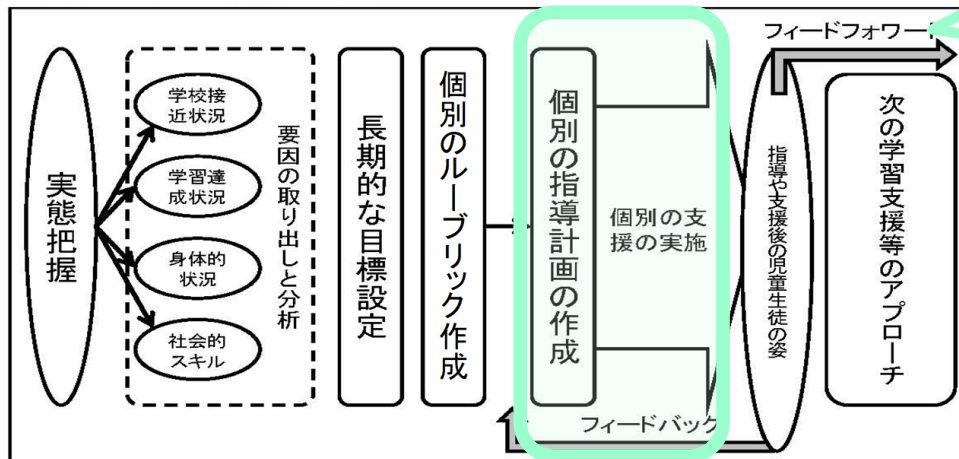
○実施者
 生徒の主な支援者

○実施内容
 生徒の意思を尊重した目標設定
 目標達成のためのルーブリック作成

○実施方法
 生徒面談 ➡ ワーキンググループ・学年会等での協議

2. 個に応じた支援の循環モデル

【生徒支援のフロー】



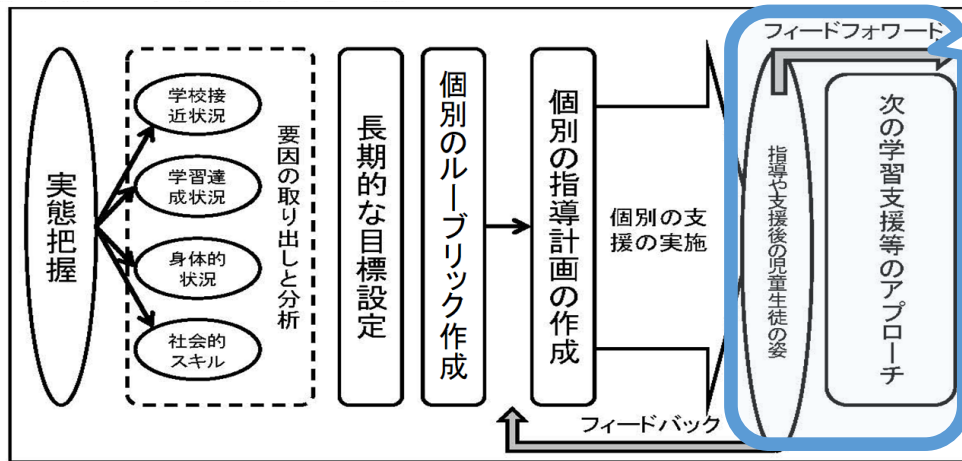
《改善すべき課題》
学年ごとに支援の基準が異なることがある

- 実施者
生徒の主な支援者
関係教職員

- 実施内容
目標・ルーブリックに基づいた個別の指導計画の作成
個別の支援の実施
- 実施方法
個別の指導計画に基づいた支援の実施

2. 個に応じた支援の循環モデル

【生徒支援のフロー】



《改善すべき課題》

責任の所在がわかりにくい、一部の教員への負担が大きい、生徒や保護者との関係がこじれる等がある

- 実施者
生徒の主な支援者
関係教職員

- 実施内容
支援の実施の評価 次の支援の検討・計画

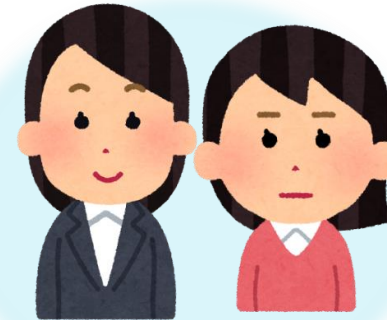
- 実施方法
生徒面談 ➡ ワーキンググループ・学年会等での協議

2. 個に応じた支援の循環モデル



支援者

支援の結果、こんなことができてきました。
次の支援に段階を進めませんか？



支援の実施



保護者との面談



ケース会議

- ・実施した支援と本人の変容を伝える
- ・次の目標とそのため支援を確認する
- ・家庭での様子を聞き取る

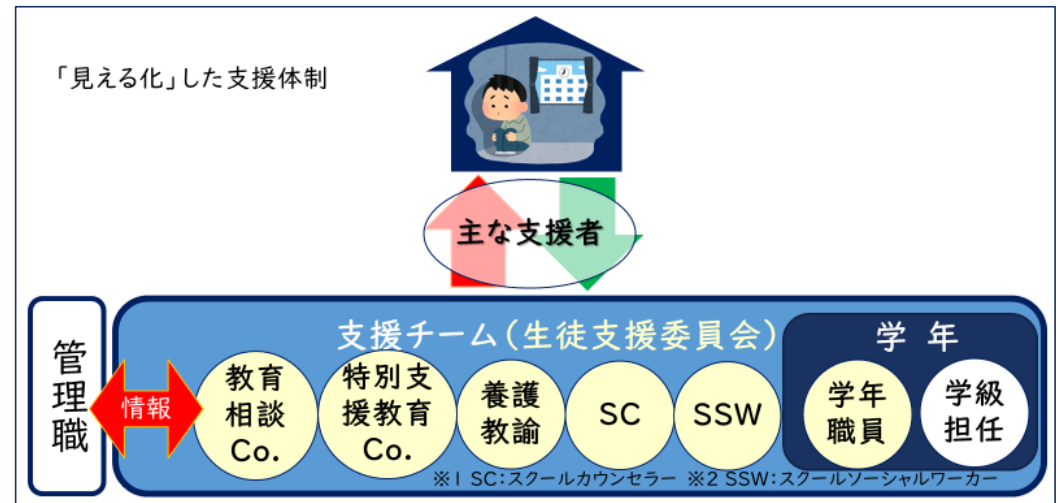
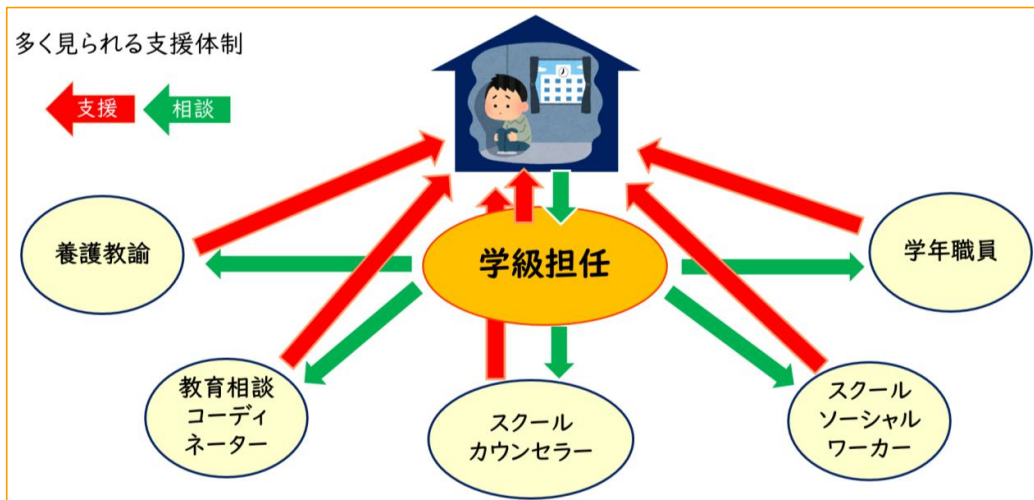
- ・本人の困りと、それに応じて実施した支援の評価
- ・適切な「次の段階」と具体的な支援の検討
- ・「次の段階」の支援の評価と見直しの時期の設定

3. 対応の組織化

3. 対応の組織化

対応を「見える化」する生徒支援体制づくり

複数の教職員（支援者）が関わり、多面的・多角的に生徒の実態を把握し、誰がどのような支援をするかをチームで検討し、実施することにより、一人の生徒に対する支援の流れが見える体制



3. 対応の組織化

支援の流れ(以前)

登校しても授業中に絵を描いたり手遊びをしたり、何度注意しても授業に集中しません

困

学級担任

学年会

Bさんは教科の授業中以外は楽しそうにしている、授業を大切にしていない

学年、教科担任が足並みを揃えて、毅然とした態度で指導しよう

3. 対応の組織化

支援の流れ(以前)

Bさん、体育会の練習が始まったあたりから欠席が増えて、今月は一日も登校しておらず、保護者に連絡が付きません

困

学級担任

学年会

SSW

Bさんは苦手なことはしたくないから学校に来ないのだろう
本人の現認や保護者との連絡は必要だから、SSWに相談してみたら？

3. 対応の組織化

支援の流れ(以前)

Bさん、5月の体育会の練習が始まったあたりから欠席が増えて、6月は一日も登校しておらず、保護者に連絡が付きません

困

学年会

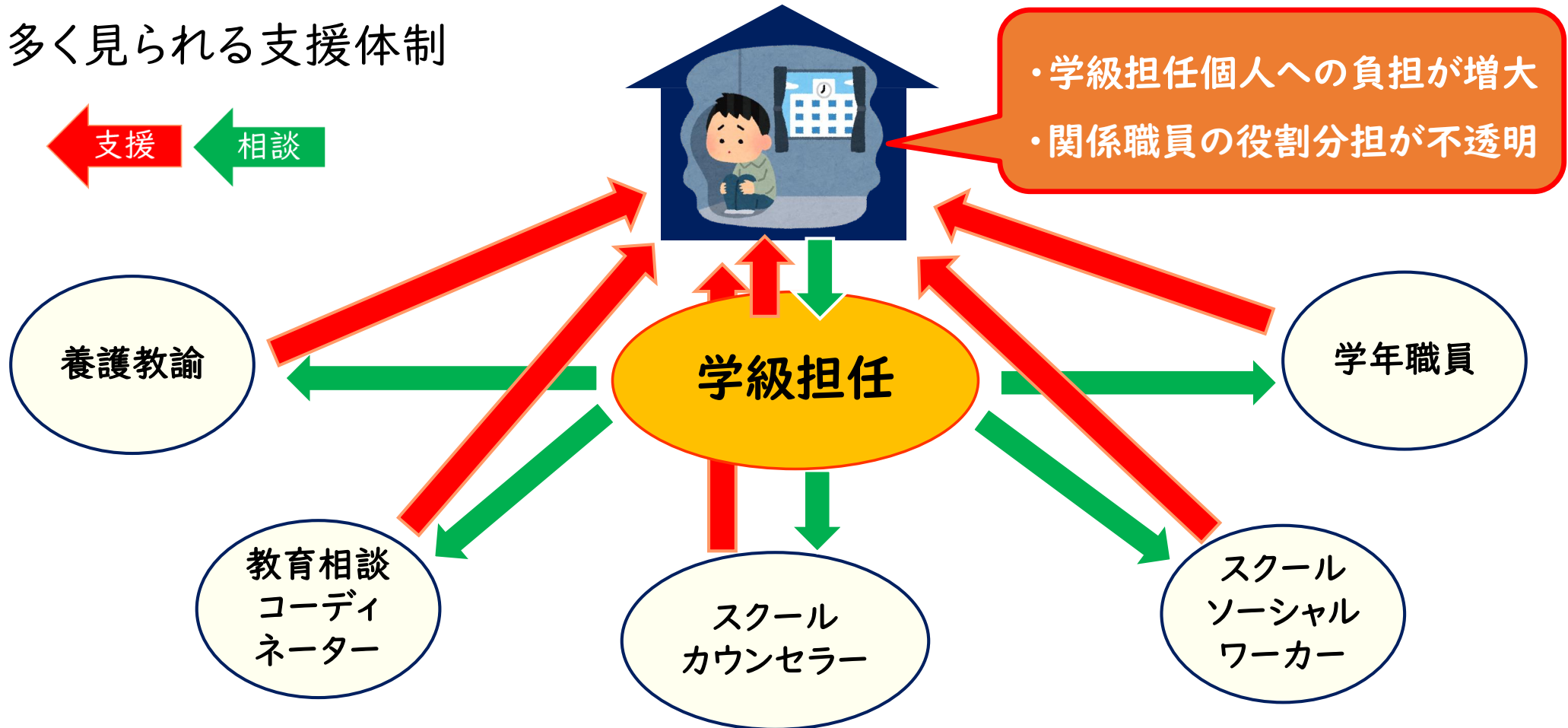
SSW

学級担任

何かしら状況が変わるまで、担任とSSWのみのやりとりになりやすく、支援の進捗が見えにくい

3. 対応の組織化

多く見られる支援体制



3. 対応の組織化

「見える化」した支援体制



支援チームを中心に
支援を検討することで、
生徒に対して
誰が
どのように支援しているか
どのような支援をするとよいか
をわかりやすくする

管理職

情報

支援チーム(生徒支援委員会)

教育
相談
Co.

特別支
援教育
Co.

養護
教諭

SC

SSW

学年

学年
職員

学級
担任

※1 SC:スクールカウンセラー ※2 SSW:スクールソーシャルワーカー

3. 対応の組織化

「見える化」した支援体制

支援チーム（生徒支援委員会）

管理職

1学年
職員

2学年
職員

3学年
職員

養護
教諭

教育相談
Co.

特別支
援教育
Co.

SSW

SC

3. 対応の組織化

「見える化」した支援体制

支援チーム（生徒支援委員会）

1学年
職員

2学年
職員

3学年
職員

養護
教諭

管理
職

生徒支援委員会における

- ・ 学年からの生徒支援の状況報告
- ・ 学年からの生徒の支援に関する相談

生徒支援委員会での内容を学年に報告

SC

3. 対応の組織化

「見える化」した支援体制

支援チーム（生徒支援委員会）

1学年
職員

2学年
職員

3学年
職員

養護
教諭

生徒の欠席や保健室利用の状況の把握・報告
保健室利用生徒に関する相談
心身の健康面からのアセスメントや支援方法提案

SC

3. 対応の組織化

「見える化」した支援体制

生徒・保護者のカウンセリング実施、報告・相談
心理・社会面からのアセスメントや支援方法提案

理職

教育相談
Co.

特別支
援教育
Co.

SSW

SC

3. 対応の組織化

「見える化」した支援体制

生徒・保護者への福祉面の支援の実施、報告や相談
関係機関との連携
教育・福祉面からのアセスメントや支援方法提案

埋
職

教育相談
Co.

特別支
援教育
Co.

SSW

SC

3. 対応の組織化

「見える化」した支援体制

特別な支援を要する生徒の支援状況と進捗の報告

関係機関との連携

各学年の特別な支援を要すると考えられる生徒についての
アセスメントや支援方針提案

埋
職

教育相談
Co.

特別支
援教育
Co.

SSW

SC

3. 対応の組織化

「見える化」した支援体制

欠席状況が気になる生徒や教室で不適応を感じている生徒に関する情報収集、支援の実施、報告・相談

生徒支援委員会の各立場からのアセスメントや支援方法の提案の整理、支援方針の提案

職

教育相談
Co.

特別支
援教育
Co.

SSW

SC

3. 対応の組織化

「見える化」した支援体制

支援チーム（生徒支援委員会）

管理職

支援方針の決定
関係機関への連絡・調整
支援に関する指導・助言

学年
員

養護
教諭

SC

Co.

Co.

SW

3. 対応の組織化

支援の流れ(現在)

登校しても授業中に絵を描いたり手遊びをしたり、何度注意しても授業に集中しません

Bさんは教科の授業中以外は楽しそうにしている、授業を大切にしていない学年、教科担任が足並みを揃えて、毅然とした態度で指導しよう

体育会の練習が始まったあたりから欠席が増えて、今月は一日も登校しておらず、保護者に連絡が付きません

Bさんは苦手なことはしたくないから学校に来ないのだろう
本人の現認や保護者との連絡は必要だから、生徒支援委員会で相談してみたら？



生徒支援係



生徒支援
委員会

学年でこういう話になったのですが、
どうしたらよいでしょうか？

3. 対応の組織化

支援の流れ(現在)

登校しても授業中に絵を描いたり手遊びをしたり、何度注意しても授業に集中しません

特支Co.:
集中できない特性があるのかも

Bさんは教科の授業中以外は楽しそうにしている、授業を大切にしていない学年、教科担任が足並みを揃えて、毅然とした態度で指導しよう

体育会の練習が始まったあたりから欠席が増えて、今月は一日も登校しておらず、保護者に連絡がつきません

Bさんは苦手なことはしたくないから学校に来ないのだろう
本人の現認や保護者との連絡は必要だから、生徒支援委員会で相談してみたら？



生徒支援係



**生徒支援
委員会**

3. 対応の組織化

支援の流れ(現在)

登校しても授業中に絵を描いたり、遊びをしたり、何度注意しても授業しません

Bさんは教科の授業中以外は楽しそうにできて、授業を大切にしている学年、教科担任が足並みを揃えて、毅然とした態度で指導しよう

体育会の練習が始まったあたりから欠席が増えて、今月は一日も登校しておらず、保護者に連絡が付きません

Bさんは苦手なことはしたくないから学校に来ないのだろう
本人の現認や保護者との連絡は必要だから、生徒支援委員会で相談してみたら？

教育相談Co.:
授業中以外の楽しそうにしている時間の状況を登校に生かさないでしょうか



生徒支援係



生徒支援
委員会



3. 対応の組織化

支援の流れ(現在)

登校しても授業の
びをしたり、何
しません

Bさんは教科の
ていて、授業を大
学年、教科担任が
した態度で指導しよう

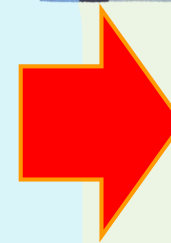
SC:
昨年度、自然教室や合唱
コンの時期も欠席でした。
集団行動の苦手さがある
かもしれません。

体育会の練習が始まったあたりから欠
席が増えて、今月は一日も登校してお
らず、保護者に連絡がつきません

Bさんは苦手なことはしたくないから学校に
来ないのだろう
本人の現認や保護者との連絡は必要だから、
生徒支援委員会で相談してみたら？



生徒支援係



**生徒支援
委員会**

3. 対応の組織化

支援の流れ(現在)

登校しても授業中に絵を描いたり手遊びをしたり、何度注意しても授業に集中しません

Bさんは教科の授業中以外は楽しそうにしている、授業を大切にしていない学年、教科担当が足並みを揃えて、毅然とした態度で指導しよう

体育会の練習が始まったあたりから欠席が増えて、今月は一日も登校しておらず、保護者に連絡が付きません

Bさんは苦手なことはしたくないから学校に来ないのだろう
本人の現認や保護者との連絡は必要だから、生徒支援委員会で相談してみたら？

SSW:

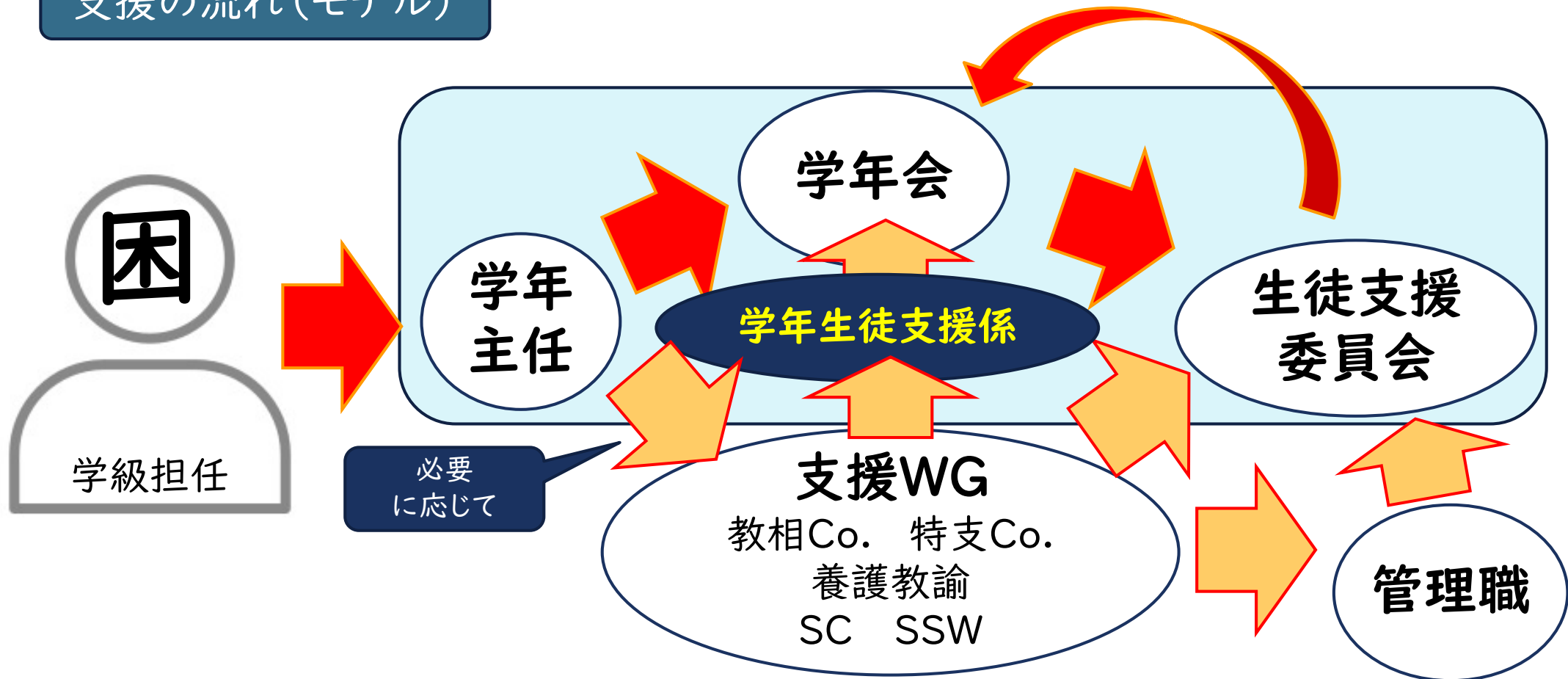
家族関係や生活の様子も気になるので、担任と一緒に家庭訪問をして本人との関係づくりをしてみます。

生徒支援
委員会



3. 対応の組織化

支援の流れ(モデル)



3. 対応の組織化

支援の流れ(うまくいった例)

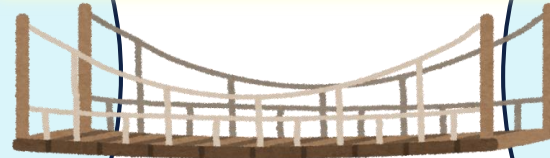
学年会

学年主任

各学級担任 副担任

- ①支援方針案の検討
- ③支援の実施・評価
- ⑥事後の見守り

各学年生徒支援係



橋渡し

生徒支援委員会

教育相談Co. 管理職
教務主任 養護教諭 SC
特別支援教育Co. SSW

- ②支援方針案の提案・相談
- ④支援実施と評価の報告
- ⑤今後の観察の視点

3. 対応の組織化

支援の流れ(うまくいかなかった例)

学年会

学年主任

各学級担任 副担任

①生徒面談
保護者連絡・家庭訪問

各学年生徒支援係



板挟み

生徒支援委員会

教育相談Co. 管理職
教務主任 養護教諭 SC
特別支援教育Co. SSW

②事後報告

3. 対応の組織化

支援の流れ(うまくいかなかった例)

学年会

学年主任

各学級担任 副担任

① 生徒支援

学年で考えて対応したのだから、終わってからのいろいろ言わないでほしい!

各学年生徒支援係



板挟み

保護者が納得していないそうだけど、誰がどう対応する?

生徒支援委員会

教育相談Co. 管理職

教務主任 養護教諭 SC

特別支援教育Co. SSW

② 事後報告

その対応で大丈夫?

この生徒は前年度以前も登校できていない時期があったようだけど理由は?

3. 対応の組織化

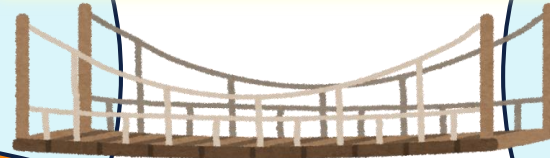
支援の流れ(うまくいった例)

学年会

学年主任

各学級担任 副担任

各学年生徒支援係



橋渡し

生徒支援委員会

教育相談Co. 管理職
教務主任 養護教諭 SC
特別支援教育Co. SSW

② 支援方針案の提案・相談

④ 支援実施と評価の報告

⑤ 今後の知

この生徒は前年度以前も
登校できていない時期が
あったようだけど理由は?

委員会が支援の前や支援の実
施の段階で、生徒に対するフィル
ターの無い状態で支援方針を確
認するため見落としが少ない

保護者が納得してい
ないそうだけど、誰が
どう対応する?

その対応で大丈夫?

3. 対応の組織化

管理職の関わり(以前)



3. 対応の組織化

管理職の関わり(現在)

行政に関わってもらった方がいでしょうか…

教育相談課に相談してみます

保護者にはどのように連絡しますか？

その予定はありませんでした。学年で検討します。



管理職

この家庭の現在の状況を誰かが把握していますか？

この家庭には子育て支援課が関わっているのでSSWが確認してみます

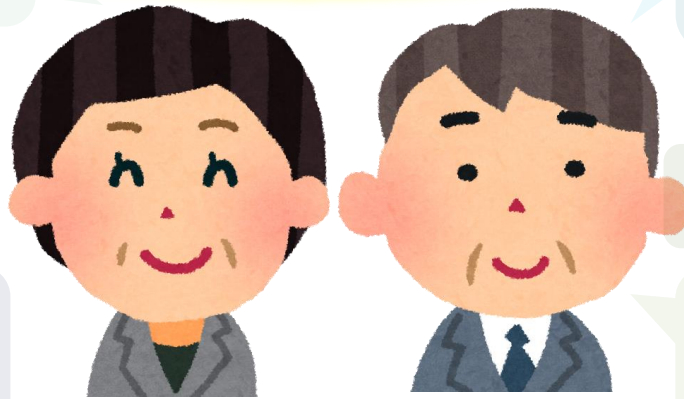
学年でこのように動く予定です

それは学年の基準で大丈夫？他学年はどうしていますか？

3. 対応の組織化

管理職の関わり(現在)

生徒支援委員会の中で
管理職と学年との報・連・相ができ、
委員会の構成員がその場でサポート
を提案できる



管理職

行政に関わって
方がいい

現在の状況を誰か
確認していますか？

教育相談課に
お願いしますね

には子育て支援課
関わっているのでSSWが
確認してみます

その指導、保護者にはど
のように連絡しますか？

学年でこのように動く予定です

その予定はありませんで
した。学年で検討します。

それは学年の基準で大丈夫？
他学年はどうしていますか？

4. 成果と課題

4. 成果と課題

《 成果 》

以前

他学年の様子がわかりにくかった

学年職員の経験則や知見、感覚での対応になり、根拠となるものがなかった

学年ごとに支援の基準が異なることがあった

責任の所在がわかりにくい、一部の教員への負担が大きい、生徒や保護者との関係がこじれる等があった

現在

他学年の生徒を知り、**学年を越えて**支援の声をかけやすくなった

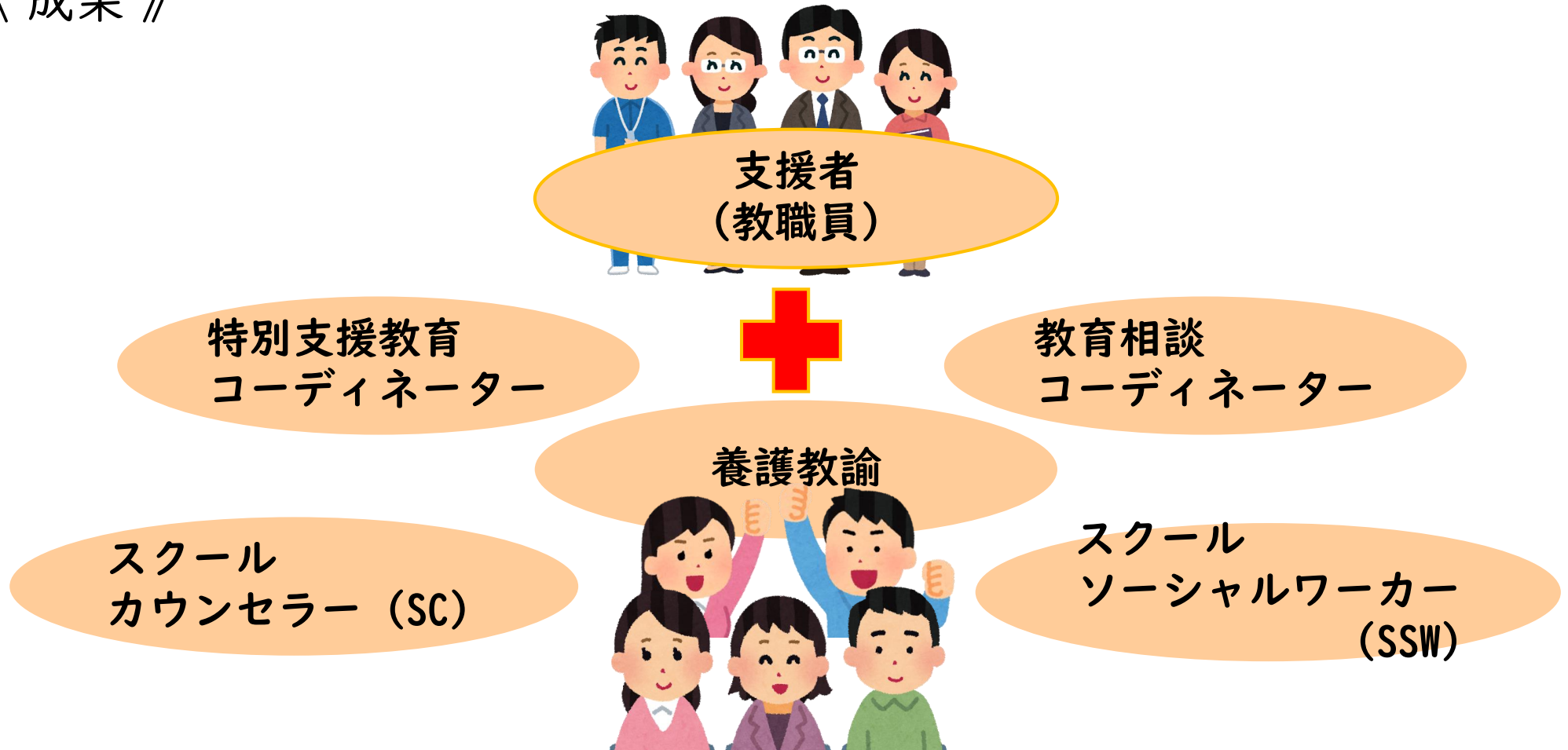
様々な立場や専門性のある教職員と方針を確認して対応を進められるようになった

生徒支援委員会で「**学校としての**」**基準**にもとづいて指導や支援ができるようになった

管理職が経緯や支援・指導方針を把握している中で「学校として」ケースに対応し、**責任が担任や学年に一極集中**することがなくなった

4. 成果と課題

《 成果 》



4. 成果と課題

生徒の実態



関係教職員による
情報共有



支援・指導チーム
による
実態把握



生徒の実態に合った
支援や指導の実施

情報の集約・支援体制の構成・外部資源との連携がスムーズになる
適切な役割分担をすることで、支援の全体像を把握できる

4. 成果と課題

《 成果 》

勤務校の長期欠席生徒状況（R5年度）

年間累計30日以上欠席生徒数

ひと月2～3日欠席すると、
年度末に累計が30日以上になる

30日以上欠席している生徒の割合は少なく
ない（約8.6%）が、登校頻度が増加している
生徒の割合は多い

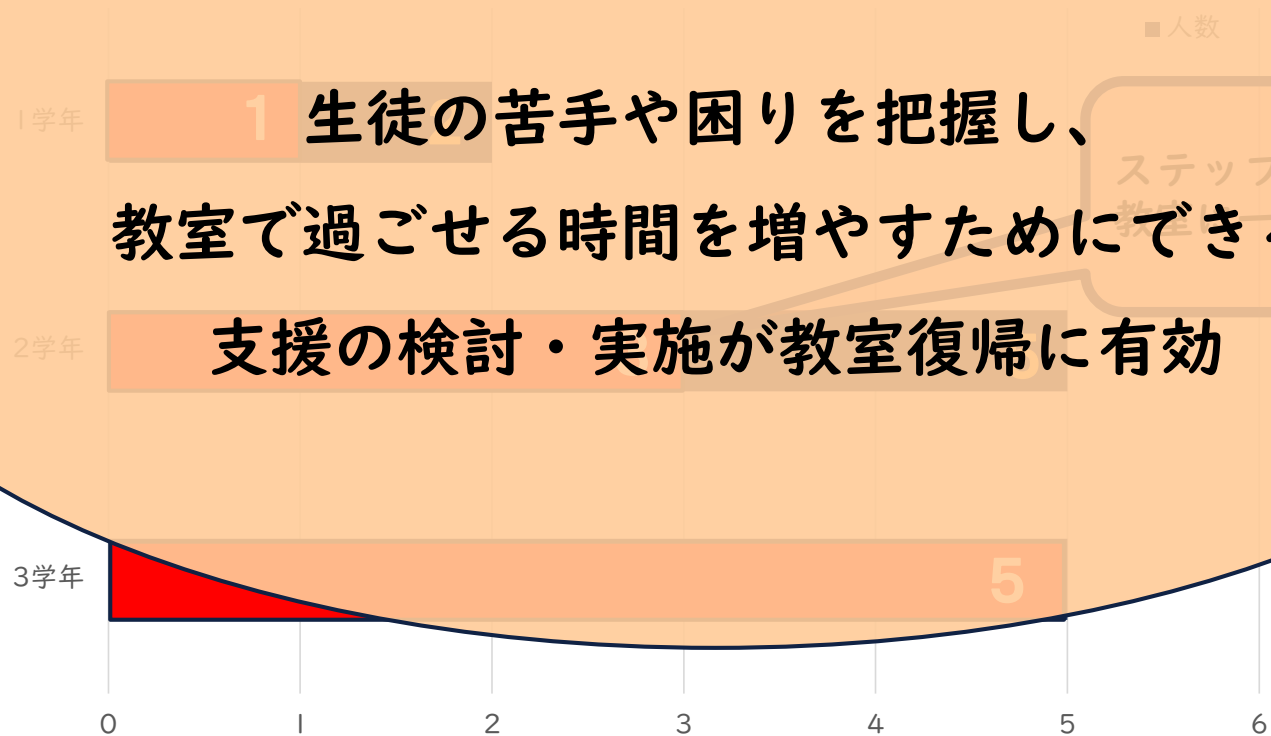
週1日以上登校するように
なった（復帰）生徒

4. 成果と課題

《 成果 》

勤務校の校内教育支援教室利用生徒状況（R5年度）

学年別ステップルーム利用生徒実数



4. 成果と課題

《 課題 》 汎用性のある支援体制の構築

- 生徒支援委員会の設置
- 生徒支援に関する自校のマニュアル作成
- 生徒支援に関する教職員の共通理解
- 教育相談コーディネーターの力量向上





日本教育心理学科会 第66回総会 学会企画シンポジウム7
学校不適合・過剰適応の教育心理学 —不登校の未然防止を目指して—

久留米市が目指す 「不登校予防の視点を含めた校務支援システム」

令和6年9月16日

久留米市教育委員会 教育ICT推進課

指導主任 関 和浩



久留米市の紹介



筑後川



久留米市の概要

人口：約30万人

学校数：小学校 42校

中学校 17校

特別支援学校 1校

高等学校 2校

児童生徒数：約25000人

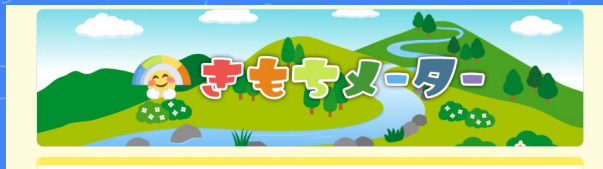
教員数：約2000人



Topics

- ①きもちメーターとは
- ②きもちメーター構築の背景
- ③モデル校での運用の実際
- ④今後の展望

きもちメーターとは



今日の体調を選んでください。*

体調 とてもよい



体調 とてもよい

体調 よい



体調 よい

体調 ややわるい



体調 ややわるい

体調 わるい



体調 わるい



マイ けんこうかんさつ

きょうのたいちょうと きぶんをえらびましょう。

k_seki@edu.kurume.ed.jp アカウントを切り替える

* 必須の質問です

メール*

返信に表示するメールアドレスとして k_seki@edu.kurume.ed.jp を記録する

きょうのたいちょうをえらぶ

体調



とてもよい



よい



ややわるい



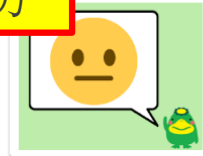
わるい

きょうのきぶんをえらぶ

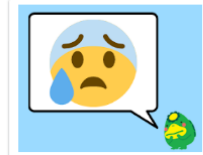
気分



うれしい、たのしい、Happy



ふつう、So so



つらい、かなしい、Sad



いらいらする、おこっている、Angry

きょうのきぶんをえらぶ

気分の理由

りゆうをきにゆうしてください、りゆうはきにゆうしなくてもおくれま

回答を入力

あさごはんはたべましたか？【かならずえらぶ】*

- たべた
- すこしたべた
- たべなかった

朝食

きょうはなんじにねましたか？【かならずにゆうりよく】*

時刻

__ : __

就寝時間

きょうはなんじにおきましたか？【かならずにゆうりよく】*

時刻

__ : __

起床時間

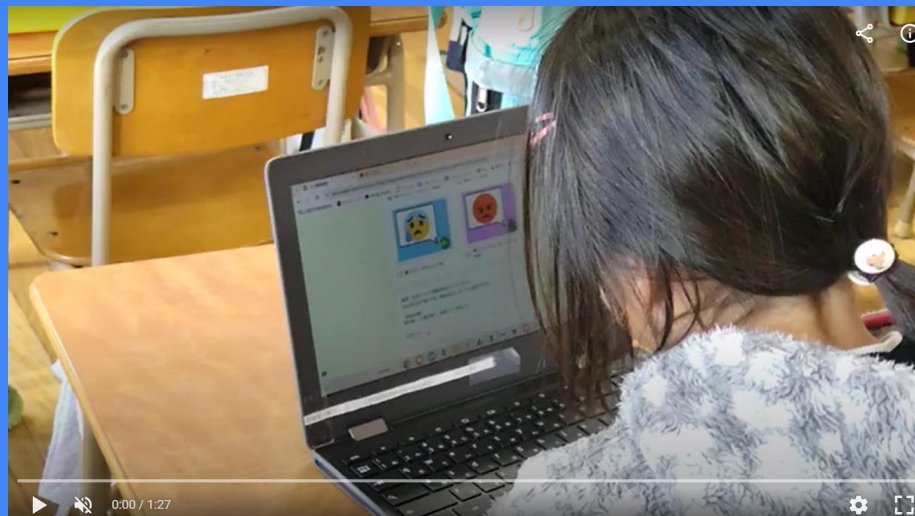
こまっていることや そうだんしたいことがあるひとは のね をおしてね。

あのね

先生あのね

送信

登校時に入力する児童（小学校3年生）の様子



①気持ちメーター 構築の背景

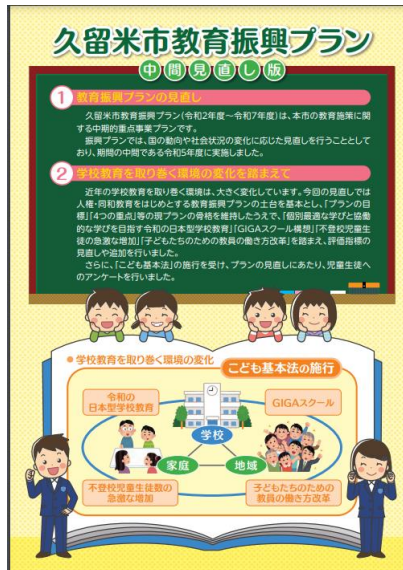
①久留米市教育振興プラン

R6重点目標の達成に向けて

②文部科学省「誰一人取り残されな
い学びの保障に向けた不登校対策」
(**COCOLO** プラン) 推進に向けて

③子どもの見取り力の向上に向けて

①久留米市教育振興プラン R6重点目標の達成に向けて



【成果指標】

重点2 楽しい学校 (安全・安心な学び舎)

①不登校児童生徒が学校内外で相談・指導を受けた割合が増加する。(月例報告、文部科学省調査等)

②「学校に行くのは楽しいと思う」と答える児童生徒の割合が増加する。

(学力・学習状況調査、学校独自調査等)

①久留米市教育振興プラン R6重点目標の達成に向けて

【成果指標】

- ①不登校児童生徒が学校内外で相談・指導を受けた割合が増加する。
- ②「学校に行くのは楽しいと思う」と答える児童生徒の割合が増加する。



【解決の手立て】

- ①安全・安心の居場所としての魅力ある学校づくり、教育相談体制の充実
- ②小さなSOSに「チーム学校」で素早く対応、いじめ・不登校の予防、多様な支援など

①久留米市教育振興プラン R6重点目標の達成に向けて

【実態】

- ①不登校児童生徒が学校内外で相談・指導を受けていない割合
R5年度 小学校（***%） 中学校（***%）

	R 3	R4	R5	うち教職員に相談	相談なし
小学校 相談指導を受けていない児童数	49人	48人	45人	45人	0人
小学校 未支援児童数／不登校数（割合）	49人／100人	48人／100人	45人／100人	45人／100人	0人／100人
中学校 相談指導を受けていない生徒数	157人	157人	157人	157人	0人
中学校 未支援生徒数／不登校数（割合）	157人／100人	157人／100人	157人／100人	157人／100人	0人／100人
小・中学校 相談指導を受けていない人数	206人	205人	202人	202人	0人
小・中学校 未支援数／不登校数（割合）	206人／100人	205人／100人	202人／100人	202人／100人	0人／100人

数値は当日口頭で説明します

①久留米市教育振興プラン R6重点目標の達成に向けて

【実態】

②「学校に行くのは楽しいと思う」と答える児童生徒の割合



②文部科学省「誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策」(COCOLOプラン) 推進に向けて

誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策「COCOLOプラン」(概要) ※Comfortable, Customized and Optimized Locations of learning

○小・中・高の不登校が約30万人に急増。90日以上の不登校であるにもかかわらず、学校内外の専門機関等で相談・指導を受けられていない小・中学生が4.6万人に。

⇒不登校により学びにアクセスできない子供たちをゼロにすることを目指し、

1. 不登校の児童生徒全ての学びの場を確保し、学びたいと思った時に学べる環境を整える
2. 心の小さなSOSを見逃さず、「チーム学校」で支援する
3. 学校の風土の「見える化」を通じて、学校を「みんなが安心して学べる」場所にする

ことにより、誰一人取り残されない学びの保障を社会全体で実現するためのプランを、文部科学大臣の下、とりまとめ。

○今後、こども政策の司令塔であるこども家庭庁等とも連携しつつ、今すぐできる取組から、直ちに実行。また、文部科学大臣を本部長とする「誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策推進本部」を、こども家庭庁の参画も得ながら、文部科学省に設置。進捗状況を管理しつつ取組を不断に改善。

主な取組

1. 不登校の児童生徒全ての学びの場を確保し、学びたいと思った時に学べる環境を整える
仮に不登校になったとしても、小・中・高等を通じて、学びたいと思った時に多様な学びにつながることをできるよう、個々のニーズに応じた受け皿を整備。

○不登校特例校の設置促進(早期に全ての都道府県・指定都市に、将来的には分教室も含め全国30校設置を目指し、設置事例や支援内容を全国に提示。「不登校特例校」の名称について、関係者に意見を募り、より子供たちの目線に立ったものへ改称)。

○校内教育支援センター(スペシャルサポートルーム等)の設置促進(落ち着いた空間で学習・生活できる環境を学校内に設置)

○教育支援センターの機能強化(業務委託等を通して、NPOやフリースクール等との連携を強化。オンラインによる広域支援、メタバースの活用について、実践事例を踏まえ研究)

○高等学校等における柔軟で質の高い学びの保障(不登校の生徒も学びを続けて卒業することができるような学び方を可能に)

○多様な学びの場、居場所の確保(こども家庭庁とも連携。学校・教育委員会等とNPO・フリースクールの連携強化。夜間中学校、公民館・図書館等も活用。自宅等での学習を成績に反映)

実効性を高める取組

- エビデンスに基づきケースに応じた対応を可能にするための調査の実施(一人一人の児童生徒が不登校となった要因や、学びの状況等分析・把握)
- 学校における働き方改革の推進 ○文部科学大臣を本部長とする「誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策推進本部」の設置

2. 心の小さなSOSを見逃さず、「チーム学校」で支援する
不登校になる前に、「チーム学校」による支援を実施するため1人1台端末を活用し、小さなSOSに早期に気付くことができるよううにするとともに、不登校の保護者も支援。

- 1人1台端末を活用し、心や体調の変化の早期発見を推進(健康観察にICT活用)
- 「チーム学校」による早期支援(教師やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、養護教諭等が専門性を発揮して連携。こども家庭庁とも連携しつつ、福祉局等と教育委員会の連携を強化)
- 一人で悩みを抱え込まないよう保護者を支援(相談窓口整備。スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーが保護者を支援)

3. 学校の風土の「見える化」を通じて、学校を「みんなが安心して学べる」場所にする
学校の風土と欠席日数には関連を示すデータあり。学校の風土を「見える化」して、関係者が共通認識を持って取り組めるようにし学校を安心して学べる場所に。

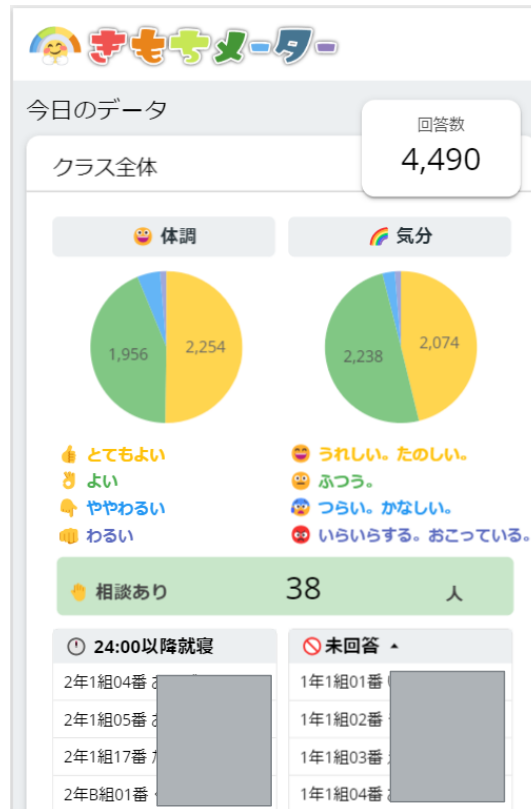
- 学校の風土を「見える化」(風土等を把握するためのツールを整理し、全国へ提示)
- 学校で過ごす時間の中で最も長い「授業」を改善(子供たちの特性に合った柔軟な学びを実現)
- いじめ等の問題行動に対する毅然とした対応の徹底
- 児童生徒が主体的に参加した校務等の見直し推進
- 快速で踏みのある学校環境整備
- 学校を、関係者や関係機関の違いに関わらず、社会と学を学ぶ場に

1人1台端末を活用して、心の小さなSOSを見逃さず、「チーム学校」で支援する

*研究構築中
・授業のふりかえり
・子どもポータルサイト

③モデル校での運用 の実際

*R6年度 小学校2校



R6.5.17日の各学級のデータから

学級担任は朝の時間～午前中に子どもの投稿を確認

今日のデータ

クラス全体 回答数 35

体調

とてよい
よい
ややわるい
わるい

気分

うれしい。たのしい。
ふつう。
つらい。かなしい。
いらいらする。おこっている。

相談あり 0 人

24:00以降就寝 未回答

日付	クラス名前	休...	気...	体調・気分の理由	朝食	就寝	起床	睡眠時間	相...	今日の一言
2024/05/17 8:28	6年2組21	○	○	-	☹️	24:30	06:50	6時間20分	-	-
2024/05/17 8:24	6年2組23	○	○	-	☹️	22:15	06:50	8時間35分	-	-
2024/05/17 8:26	6年2組24	⊖	⊖	-	☹️	22:00	06:30	8時間30分	-	-
2024/05/17 8:23	6年2組25	○	○	-	☹️	22:00	06:20	8時間20分	-	-
2024/05/17 8:25	6年2組26	△	△	咳が出る	☹️	21:43	07:14	9時間31分	-	応援団の練習が三時間目にあるから楽しみ
2024/05/17 8:29	6年2組27	○	⊖	-	☹️	21:00	06:55	9時間55分	-	応援練習を頑張る
2024/05/17 8:25	6年2組28	⊖	⊖	-	☹️	22:00	06:28	8時間28分	-	-
2024/05/17 8:25	6年2組29	⊖	⊖	-	☹️	21:10	06:13	9時間3分	-	え
2024/05/17 9:09	6年2組30	○	○	-	☹️	22:36	06:43	8時間7分	-	-
2024/05/17 8:25	6年2組31	⊖	⊖	友達と今日一緒に遊べるから	☹️	22:00	07:00	9時間0分	-	-
2024/05/17 8:27	6年2組32	○	○	-	☺️	23:00	06:50	7時間50分	-	-
2024/05/17	6年2組33	⊖	⊖	-	☹️	21:30	06:30	9時間0分	-	-

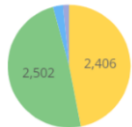
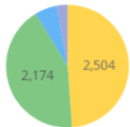
今日のデータ

クラス全体

回答数
5,125

体調

気分



- とてもよい
- よい
- ややわるい
- わるい

- うれしい、たのしい。
- ふつう。
- つらい、かなしい。
- いらいらする。おこっている。

相談あり 44 人

24:00以降就寝

未回答

- 2年1組10番
- 2年1組11番
- 2年1組15番
- 2年2組02番
- 2年2組16番

- 1年1組0
- 1年1組0
- 1年1組0
- 1年1組0
- 1年1組0

特に管理職・学年主任は、全体の子どもの本日の様子を概観する

日付	クラス 名前	体...	気...	体調・気分の理由	朝食	就寝	起床	睡眠時間	相...	今日の一言
2024/05/23 10:32	まきおかこ	○	○	-	☹️	21:00	07:00	10時間0分	-	-
2024/05/21 8:49		○	○	-	☹️	21:00	06:00	9時間0分	-	-
2024/05/27 9:20		○	○	-	☹️	21:00	07:00	10時間0分	-	-
2024/05/02 8:40		○	○	-	☹️	21:00	05:00	8時間0分	-	-
2024/05/08 8:39		○	○	-	☹️	21:00	07:00	10時間0分	-	-
2024/05/31 8:06		●	●	-	☹️	20:00	09:00	13時間0分	-	-
2024/05/16 8:22		●	●	-	☹️	22:30	05:50	7時間20分	-	-
2024/05/01 7:55		●	●	-	☹️	22:30	06:30	8時間0分	-	-
2024/05/24 8:14		×	△	-	☹️	21:00	08:00	11時間0分	-	-
2024/05/28 8:10		△	×	-	☹️	21:00	09:00	14時間0分	-	-
2024/05/22 8:04		●	●	-	☹️	21:00	09:00	14時間0分	-	-
2024/05/21		●	●	-	☹️	21:00	09:00	13時間0分	-	-

朝の体調・気分がすぐれない子の要因は朝食を食べていないことに関係してそうだな

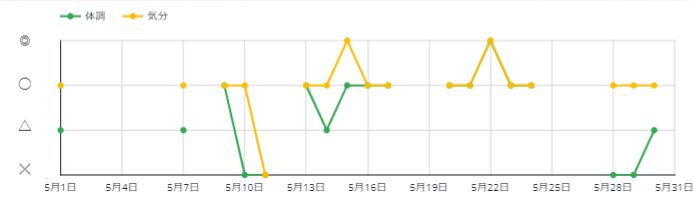


個人データ

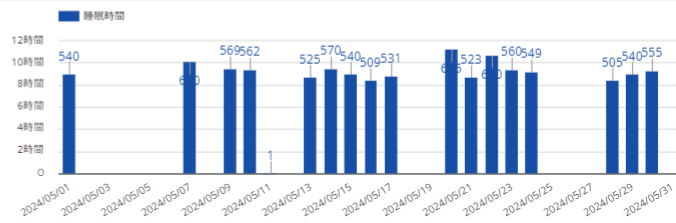
名前: 4年2組34番 まつ

気になった児童生徒の個人ページを開き、直近の体調・気分の上がり下がりや睡眠時間の状況を確認する。

期間中の体調・気分の回答状況



期間中の睡眠時間の回答状況



マイ健康観察の回答履歴

相談あり	日付	クラス 名前	体調	気分	体調・気分の理由	朝食	就寝	起床	睡眠時間	相談	今日の一言
0 日	2024/05/22 4:50	4年2組	○	○		☺	21:00	07:40	10時間40分	-	-
	2024/05/29 23:27	5年1組	△	○	背中が痛い	☺	22:00	07:15	9時間15分	-	-
	2024/05/28 23:22	5年1組	×	○	-	☺	22:00	07:00	9時間0分	-	-
	2024/05/27 23:32	5年1組	×	○	右の太ももも右腕右足の小指背中が痛い	☺	23:05	07:30	8時間25分	-	体の痛みが早く治ってほしい
	2024/05/23 23:24	5年1組	○	○	-	☺	22:02	07:11	9時間9分	-	-
	2024/05/22 23:42	5年1組	○	○	-	☺	22:00	07:20	9時間20分	-	-
	2024/05/21 23:32	5年1組	○	○	-	☺	22:00	07:20	9時間20分	-	-

管理職は、一か月の子どもの体調・気分の変化から特徴・兆候を推察する。

2週間データ

体調・気分_日別

あのね相談記録

個人データ

データ一覧

ヘルプ

体調と気分

デフォルト: 本日を含む14日間

2024年

クラス名	04/26(金)		04/25(木)		04/24(水)		04/23(火)		04/22(月)		04/19(金)		04/18(木)		04/17(水)		04/16(火)		04/15(月)		04/12(金)	
	気分	体調	気分	体調	気分	体調	気分	体調	気分	体調	気分	体調	気分	体調	気分	体調	気分	体調	気分	体調	気分	体調
5年3組	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
5年3組	◎	△	◎	△	◎	○	○	○	○	◎	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
5年3組						○	○								○	○	○	○	○	○	○	◎
5年3組	○	○	○	○	○	○	○	○	△	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
5年3組	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
5年3組	◎	◎	△	△	○															◎	○	◎
5年3組				○	△																	◎
5年3組	×		×	△				×	×	×	×			△	△	△	△	△	△			△
5年3組														○	○	○	○	○	○	◎	○	○
5年3組	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
5年3組	○	○	○	○	○	△	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
5年3組	◎	△	○																			◎
5年3組	◎	◎	◎	△																		◎

一か月通して、体調・気分が優れていない。
このような回答をする傾向の児童なのか、直近で生活に乱れはないか担任に確認しよう。

「あのね記録ノート」に何かしら書き込みをしている子どもを全職員がすばやく把握できるページ
 また、対応済みかそうでないかも確認できる



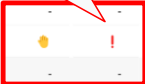
あのね相談

あのね記録ノートを開く

2024年






クラス名前	05/31(金)		05/30(木)		05/29(水)		05/28(火)		05/27(月)		05/24(金)		05/23(木)		05/22(水)		05/21(火)	
	相談	対応...	相談	対応...	相談	対応...	相談	対応...	相談	対応...	相談	対応...	相談	対応...	相談	対応...	相談	対応...
2年1組0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2年1組1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2年1組1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2年1組1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2年1組1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2年1組1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2年1組2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2年2組0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2年2組0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2年2組2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2年3組0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2年3組1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2年6組0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3年1組0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3年1組0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

「！」マークは未対応のマーク



児童生徒

「先生あのね」【小さなSOS】に記載された内容を確認し、初期対応の内容をメモに残し、「対応済み」か「未対応」なのかを全職員が共有する。

		2024-07-18		メモ _____		対応済にする
		2024-07-18		メモ _____		対応済にする
		2024-07-18		メモ 隣の席の友達が授業中や給食中に笑わせてくる。話をして解決。_____		未対応に戻す
		2024-07-18		メモ _____		未対応に戻す

【モデル校の先生たちの声】

「成果」

- ・これまで気づけなかった小さな声（要望・不安なこと・愚痴・やる気）を子どもたち1人ひとりが表出できるようになり、教師はそれに気づくことができるようになった。*特に、高学年生は表出しなくなるので
- ・全職員で小さな**SOS**の情報を共有できるのが強みとなった。
- ・家庭の生活の様子と学校での様子を関係づけることができた。
- ・データの蓄積から「傾向」を確認できることが大きい。

「課題」

- ・「先生あのね」にその日のうちに対応することが難しい時がある。
- ・朝の時間に時間がとれないことがある

今後の展望

◎子どもポータルサイト

◎日頃のふりかえり

(自己調整力)

(自己肯定感)



[くるめっ子へ](#) [【じょうほう】コーナー](#) (2024年〇月スタート!)

おしらせ

2024. 〇. 〇 (〇) くるめの小学生・中学生のみなさんが、情報（じょうほう）を共有（きょうゆう）することができる『くるめっ子ポータルサイト』はじめます！

かこのおしらせはコチラ

くるめっ子ポータルサイト

- ・ 情報活用能力の育成
- ・ 主体的に発信できる場づくり
- ・ 久留米を愛するくるめっ子の育成



小さなSOSを発信できる場づくり
*おなやみ相談

～くるめよかここ～
久留米市の魅力を知る上で有益となるサイトを掲載予定

～くるめのがっこう～
久留米市内の小・中・高等学校のHPを掲載予定

～きょうゆうコーナー～
久留米市内だけ【@edu.kurume.ed.jp】で、子どもが作成した授業の成果物や発表の場として投稿できる予定
※投稿の仕方は、くるめ GIGA スクール推進協議会で協議予定



～おしらせ～
新着情報を掲載

～くるめしからのおしらせ～
各課より子どもへ周知したい内容(リンク)を掲載

～おなやみそうだん～
「結らいん(市)」や「子どもホットライン 24」等へメールを送信できる

～きもちメーター～
心や体の調子を入力することができる場(教員:ダッシュボードから確認・情報共有)
※令和7年度から導入予定

日頃のふりかえり（自己調整力・自己肯定感）

学校で過ごす時間の中で
最も長い「授業」を改善

02

子供たちそれぞれの良さや持ち味を生かし、みんなが活躍できる機会や出番がある授業づくりが行われるよう、不登校特別校の取組等も参考にしつつ、1人1台端末を活用した子供たち一人一人の学習進度や興味・関心等に応じた指導など、一方通行型でない、子供たちの特性に合った柔軟な学びを実現し、それぞれが前向きに学べるようにします。

誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策」（COCOLOプラン）
文部科学省 令和5年3月31日



- ◇授業改善のポイント
- 子どもが主語の「見通し」と「ふりかえり」
- ・何がわかったか
 - ・どのようにしてわかったか
 - ・次の学びにどう活かすか

自分の学びを振り返り（自己調整力）、他者からのコメントも含めて蓄積し、自分の成長を実感できる（自己肯定感）場づくり
*気持ちメーターの改良 *子どもポータルサイトの改良



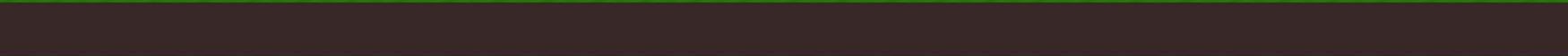
Thank you!





学校不適應の早期検知のための
会津美里町の取り組み

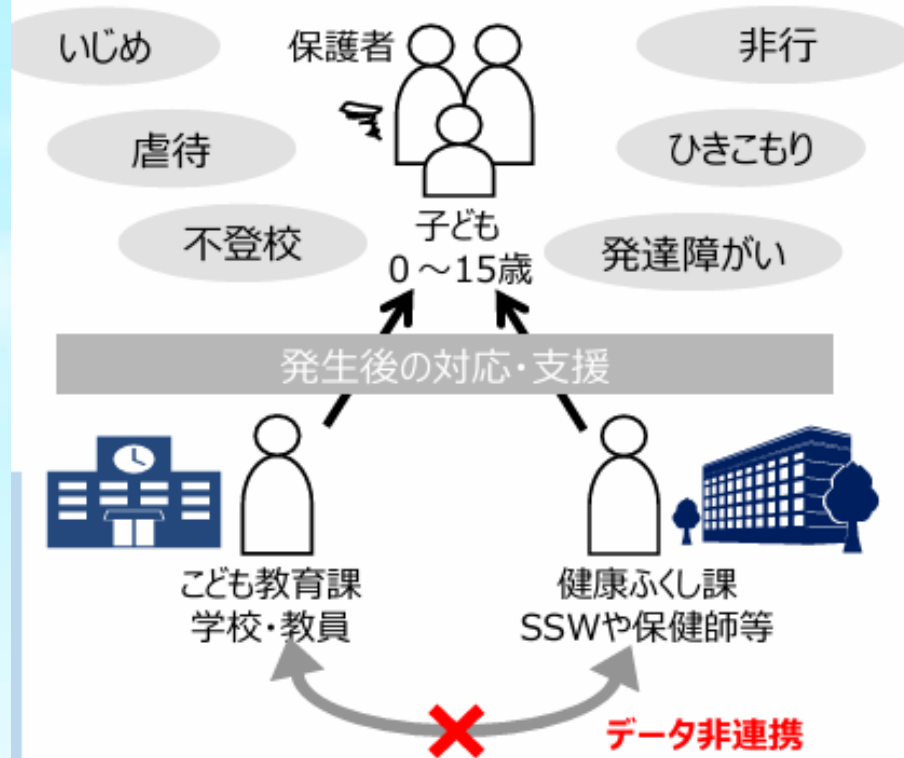
愛知教育大学
鈴木 美樹江



こども家庭庁こどもデータ連携実証事業とは

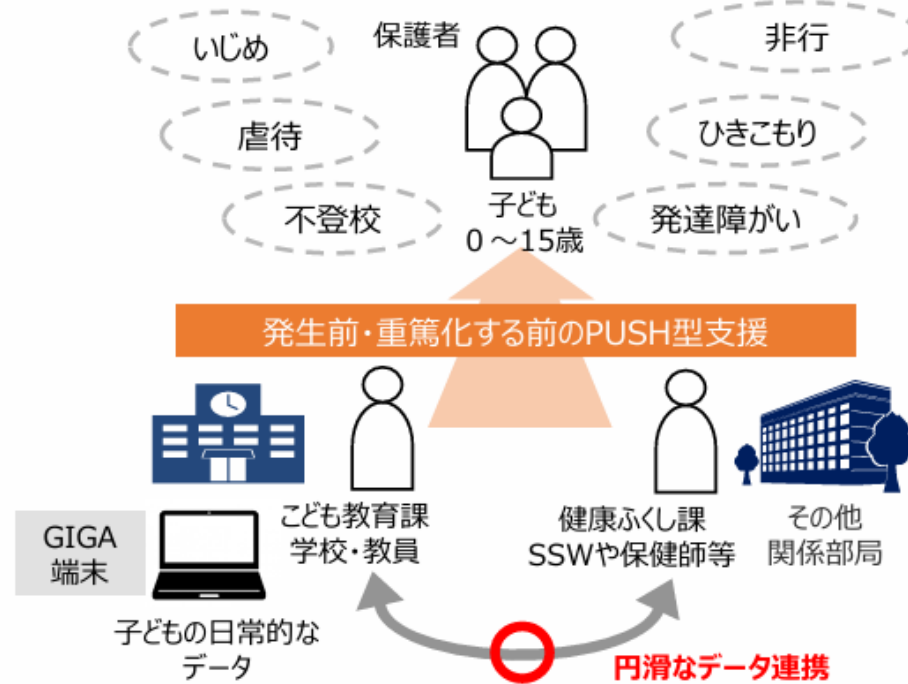
- 地方公共団体において、こどもや家庭に関する教育・保育・福祉・医療等のデータを、分野を越えて連携させることを通じて、情報を分析し、潜在的に支援が必要なこどもや家庭を早期に発見し、プッシュ型支援につなげる取組（こどもデータ連携）の推進に向けての実証事業である

会津美里町のこれまでの取組



- 学校不適応の児童・生徒に対する取り組み: 子ども教育課 (学校・教員) と健康福祉課 (SSWや保健師、スクールカウンセラー等) が個別に対応
- 発生後の対応に追われることが多かった

会津美里町が実証事業で目指すもの



- 学校やこども教育課、健康ふくし課、町民税務課等の各課横断的なデータの連携・分析
- こどもや保護者が発する潜在的なニーズやSOSの兆候を早期に発見。支援が必要なこどもや家庭へ困難な状況が発生する・重篤化する前にプッシュ型支援を実施

方法

・調査時期：2022年1月（2021年度3学期）～2023年7月（2023年度1学期）

・調査対象：公立小学校4校（1年生～6年生）811名，公立中学校3校（1年生～3年生）388名

・調査方法：

①登校状況：出席日数，欠席日数，遅刻早退日数，出席停止日数

②保健室来室理由

③発育測定結果：学校で学期ごと（4月・9月・1月）に実施された健康診断（発育測定）の日比式

④フッ素塗布；2歳時健康相談，3歳児健診にてフッ素塗布の有無

*①～③は校務支援システムデータ，④は健康福祉課データ

遅刻早退日数等と欠席日数との関連

Table 1 重回帰分析結果

	2023年度1学期欠席日数			
	<i>B</i>	<i>SE B</i>	<i>95% CI</i>	β
2022年度遅刻早退日数	0.32	0.02	(0.28, 0.36)	.46 ***
2022年度出席停止日数	0.01	0.02	(-0.02, 0.05)	.02
R^2				.21 ***

*** $p < .001$

遅刻早退日数が多い児童・生徒は
次年度1学期の欠席日数も多い

遅刻早退日数と保健室来室理由

Table2 2022年度保健室来室理由回数別の重回帰分析結果

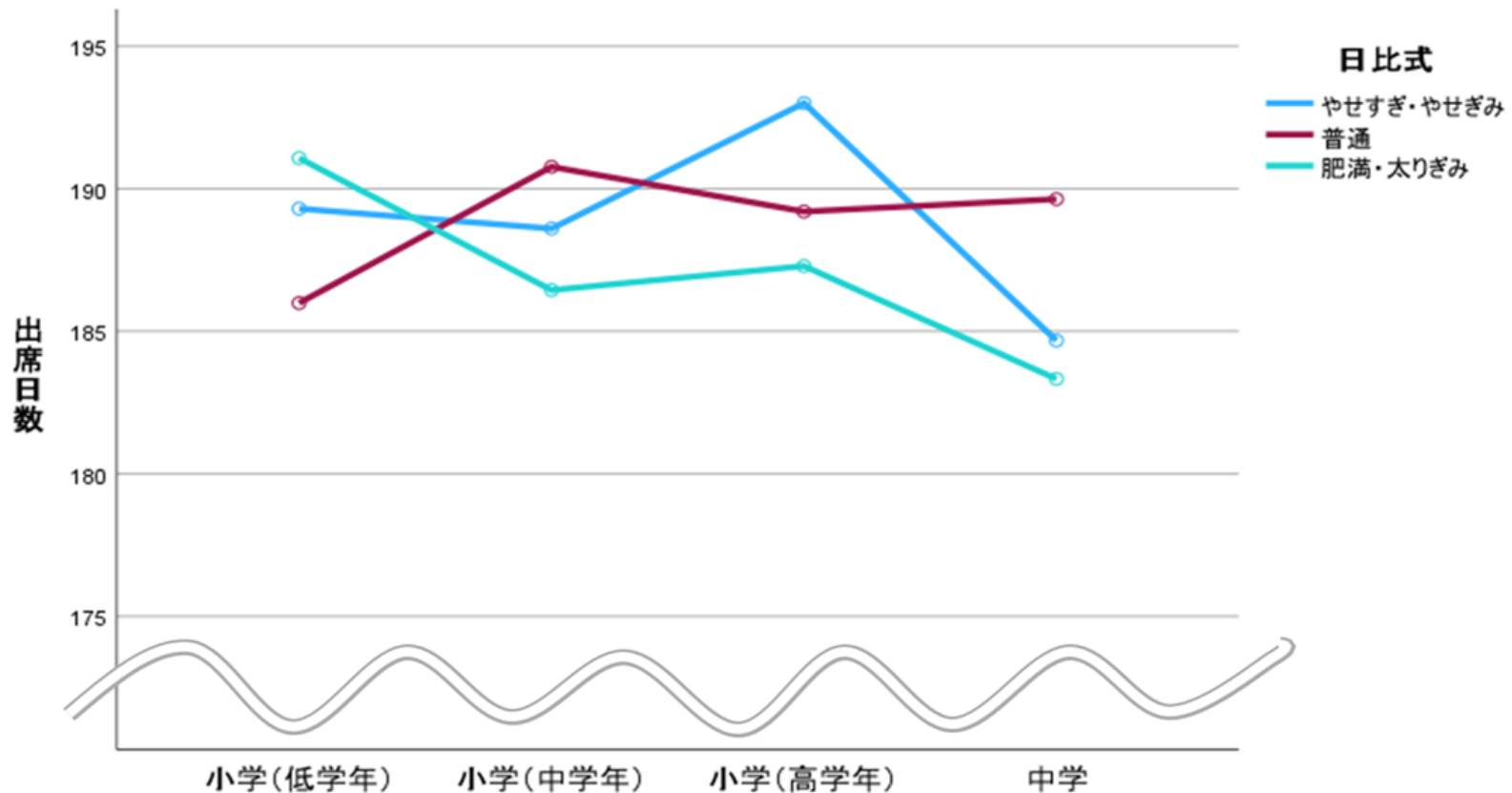
	2023年度 学期遅刻早退日数			
	<i>B</i>	<i>SE B</i>	<i>95% CI</i>	<i>β</i>
相談	1.27	0.18	(0.91, 1.63)	.22 ***
欠食	2.25	0.59	(1.10, 3.41)	.12 ***
だるい	0.51	0.61	(-0.68, 1.71)	.03
腹痛	-0.19	0.14	(-0.47, 0.08)	-.05
便秘	0.15	0.13	(-0.10, 0.40)	.04
疲労	0.79	0.45	(-0.09, 1.67)	.06 +
R^2				.08 ***

+ $p < .010$, *** $p < .001$

相談，欠食等を理由に保健室に来室した児童・生徒は次年度 | 学期の遅刻早退日数が多い

子どもの体型と登校状況

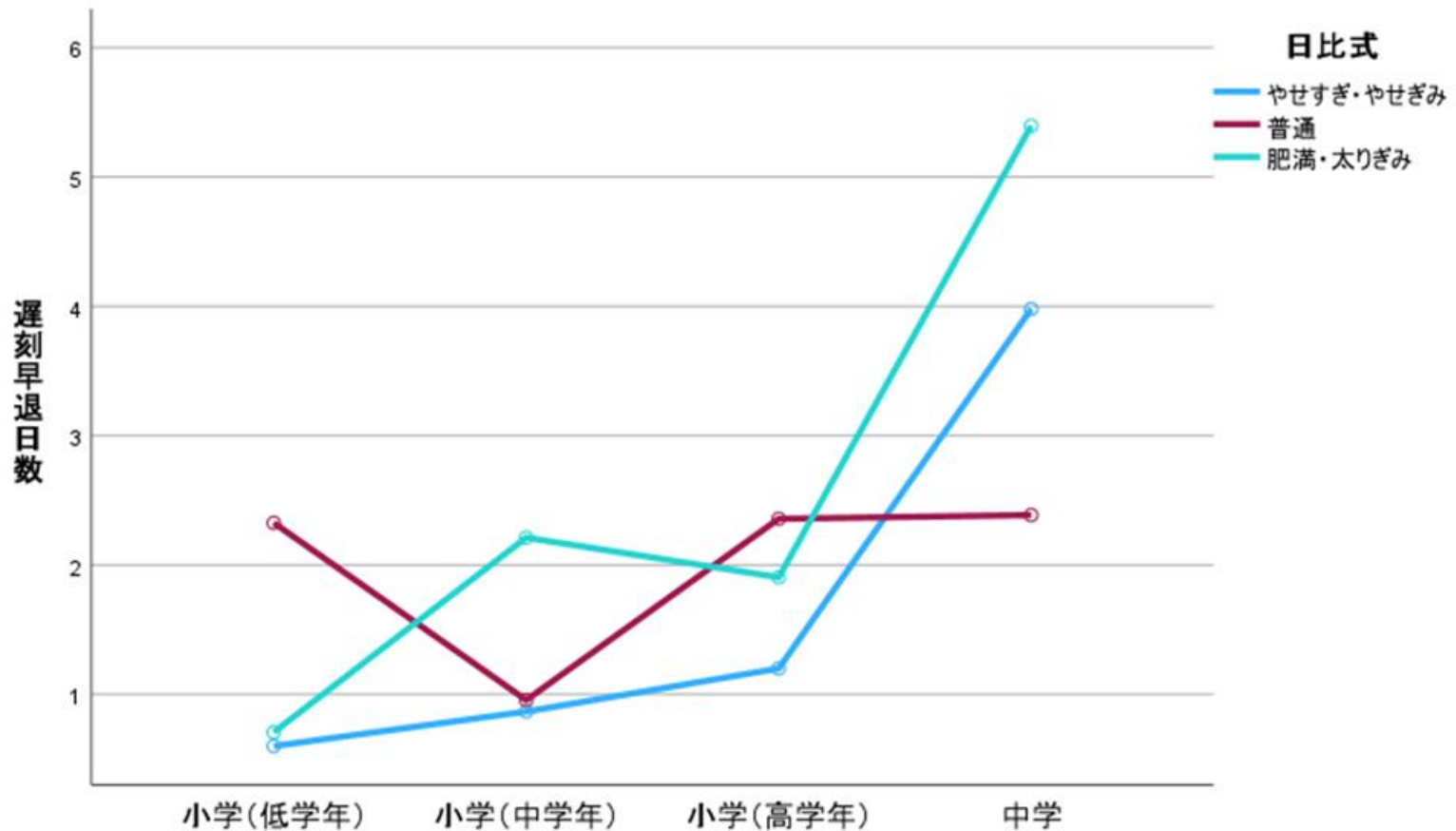
Figure1 子どもの体型（日比式：3段階）と学年差における出席日数



小学中学年を境にして、肥満傾向が高い児童・生徒は出席日数が有意に少ない

子どもの体型と登校状況

Figure2 子どもの体型（日比式：3段階）と遅刻早退日数



発育測定で肥満傾向に分類された生徒が遅刻した際には留意してみていくことが不登校予防につながる可能性

幼児期のフッ素塗布の状況と就学期の登校状況

Table3 2歳児フッ素塗布と登校状況

	フッ素塗布有群		フッ素塗布無群		<i>t</i>	<i>d</i>
	<i>M</i>	<i>SD</i>	<i>M</i>	<i>SD</i>		
2021年度3学期出席日数	41.21	2.94	41.89	4.58	0.55	0.15
2022年度1学期出席日数	73.43	2.83	71.32	6.19	4.68 ***	0.39
2022年度2学期出席日数	69.71	4.85	69.96	6.95	0.35	0.04
2022年度3学期出席日数	48.49	5.45	48.44	5.43	0.09	0.01
2023年度1学期出席日数	65.59	3.11	64.25	6.21	2.22 **	0.27
2022年度出席日数	191.63	9.77	189.72	15.22	1.24	0.14

** $p < .01$, *** $p < .001$

幼児期のフッ素塗布の状況と就学期の登校状況

Table4 3歳児フッ素塗布と登校状況

	フッ素塗布有群		フッ素塗布無群		<i>t</i>	<i>d</i>
	<i>M</i>	<i>SD</i>	<i>M</i>	<i>SD</i>		
2021年度3学期出席日数	41.40	4.66	41.89	5.37	0.84	0.09
2022年度1学期出席日数	72.12	5.22	71.08	7.74	1.68 *	0.16
2022年度2学期出席日数	70.07	5.89	69.24	8.67	1.21	0.11
2022年度3学期出席日数	48.97	3.06	47.61	7.44	2.54 **	0.24
2023年度1学期出席日数	64.97	4.38	64.16	8.36	1.14	0.13
2022年度出席日数	191.16	11.05	187.93	20.88	2.06 *	0.19

* $p < .05$, ** $p < .01$

幼少期のフッ素塗布の有無が就学期の登校状況と関連している可能性が考えられるが、背景要因（例：家環境等）も含め、今後詳細な検討が必要